



アメンボは何を食べるの

水面に落ちた虫

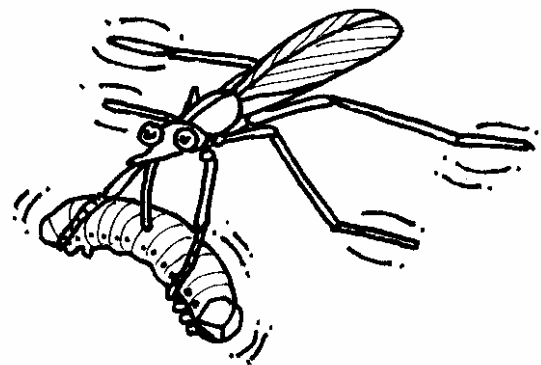
水たまりや池の水面を、すいすいすべるように動くアメンボは、カに似た体つきをしています。口も、カと同じように、針のようになっています。

アメンボは、水面に落ちて、弱って動けなくなっている小さい虫をえさにしています。小さいハエやカ、バッタ、ガやチョウ、その幼虫の青虫や毛虫、ケラの幼虫など、何でもえさになります。これらの虫が水面に落ちて、もがいたり、ばたばた羽を動かしたりして、水面が動くのを足の先で感じ取り、すばやく近づいて針のような口をさしこみ、虫の体液を吸います。

飼っているときは、ハエやゴキブリなどをあたえる

飼っているときは、アメンボが小さければ、果物などによく集まってくる、ショウジョウバエを少し弱らせたものを、水面に落としてやります。大きなアメンボのときは、大きいハエやゴキブリの羽をむしって、飛んでにげられないようにしたものを、水面に落としてやります。2日に1回ぐらいの割合で、あたえるだけでいいでしょう。2ひき以上、いっしょに飼っているときは、1ぴきずつ縄張りがありますから、それぞれの縄張りに分けてあたえます。えさが少ないと、アメンボの幼虫や弱った成虫も、食べてしまうことがあります。

（監修・中山 周平）



小虫の体液を吸うアメンボ

